

# すみた 議会だより



No.165

平成31年  
4月26日

「なあんだ、こわくないね！  
いいお顔して、ハイ、チーズ！」

《有住保育園》 関連記事20p



3月議会で決まったこと ②

より住みよい町づくりのために  
(31年度予算審議) ④

議員活動報告 ⑨

我が町政を問う (6議員が一般質問) ⑪

特集「訪問看護事業スタート」 ⑱

# 『支え合う共生の町』へ 着実に歩みを

## 31年度重点施策

## —3つの柱—

### 医

### 保健医療介護連携体制の構築、充実

- 訪問看護ステーションの開設
- 子育て支援医療費助成

### 食

### 食産業の振興

- 耕畜連携 ●イチゴ栽培の承継
- 農畜産物の6次産業化

### 住

### 住環境整備（移住・定住の促進）

- 定住促進空き家活用住宅整備 ●集合型町営住宅の新築設計
- 上有住地区公民館新築設計

3月定例会は、2月26日から3月8日までの11日間の会期で開かれ、町長施政方針演述、教育長教育行政演述の後、6議員が登壇し、町政諸課題について一般質問を行いました。

その他、平成30年度補正予算、条例の制定、一部改正、指定管理者の指定、変更請負契約締結、副町長の人事案件に同意、平成31年度当初予算案などを審議し、全議案を原案のとおり可決しました。



◁住民交流の拠点として  
親しまれてきている  
「まち家世田米駅」

- 指定管理者料 700万円
- 指定管理期間 3年間
- 指定管理期間 平成31年4月1日から
- 指定管理者 一般社団法人SUMI C A（村上健也代表、世田米）再指定
- 施設の名称 住民交流拠点施設（まち家世田米駅）

### 指定管理者の指定 住民交流施設・まち家世田米駅

**問** 指定管理者の指定にあたって経営計画などを確認しているか。

**答** 委託している責任から経営状況の把握のため中小企業診断士による経営分析を行っている。

**問** 世田米地区公民館との併設に問題はないか。

**答** 中心地域活性化構想の中でこの拠点施設であり、当面現状で運営していく。

**問** 簡易宿泊施設としての利用も計画されているが、商工会や旅館業者との連携は。

**答** 消防計画など営業許可を取得するまで時間を要する。関係者とは情報交換したい。

## 辺地に係る公共的施設の 総合整備計画

### ●整備計画のねらい

上有住字土倉地内を範囲とする奥土倉において、平成31年度から5年間の総合整備計画を策定しようとするもの。

### ●公共施設の整備を必要とする理由

滝観洞インターチェンジの供用開始によりアクセス環境が改善され、今後の観光振興が期待される。法定検査による要改

善の指摘により、早急に滝観洞の浄化槽設備の更新が必要である。

### ●整備計画の内容

- ・施設名 観光・レクリエーション施設
- ・事業費 1258万2000円（財源内訳は一般財源を1258万2000円、そのうち辺地対策事業債1250万円を予定している）

## 工事変更請負契約

### 〔工事名〕

馬洗橋補修工事

### 〔変更契約金額〕

219万4560円の増額

### 変更請負契約金額

6321万4560円

### 〔変更契約の主な理由〕

橋桁の既存塗膜に、有害物質である低濃度PCBの含有が確認され、周



△工事変更された馬洗橋

辺への影響に配慮する対策が必要となった。

## カモシカ 食害対策は

**問** 林業費のうちカモシカ食害対策事業の内容は。

**答** この事業は、私有林の1年生から5年生を対象に「ヤシマレント」という忌避剤塗布を実施。今後薬剤の変更など見直しが必要となる。

**問** 分収造林返戻地への再造林の状況は。

**答** 約30分の計画が7・52分の実績造林している。

## 療養給付費は

**問** 国保事業の療養給付費が減っているが、

**答** 被保険者の減少と医療費が少なかった。

**問** 高額療養費が増額されたが。

**答** 入院患者が多かったこと。大きな手術が要因となる。

## 生活支援は

**問** 介護事業での生活支援コーディネーターの役割は。

**答** 町社会福祉協議会に設置し、困りごと

とや介護など相談を行っている。

## 出会い事業は

**問** 結婚相談など出会い支援事業の状況は。

**答** 参加者がなく、事業は中止となった。今後は、「みんなのできる町づくり事業」による出会いや交流の機会を企画したいという活動団体に補助していく。

## 町道路線の認定

### ●町道認定する路線

上有住の二度成木番所跡線 134・12分



△町道に認定となった二度成木番所跡線

## ☆平成30年度補正予算の主な事業

■退職手当特別負担金…………… 1937万円	■急傾斜地崩壊対策事業費等負担金 …… 1500万円
■地域情報通信基盤施設整備基金積立金…………… 2374万円	■橋りょう補修工事費…………… 700万円
■介護給付費…………… 1633万円	■スクールバス運行委託料（小・中学校）…………… 176万円
■補装具給付費…………… 150万円	■東日本大震災復興基金積立金…………… 628万円

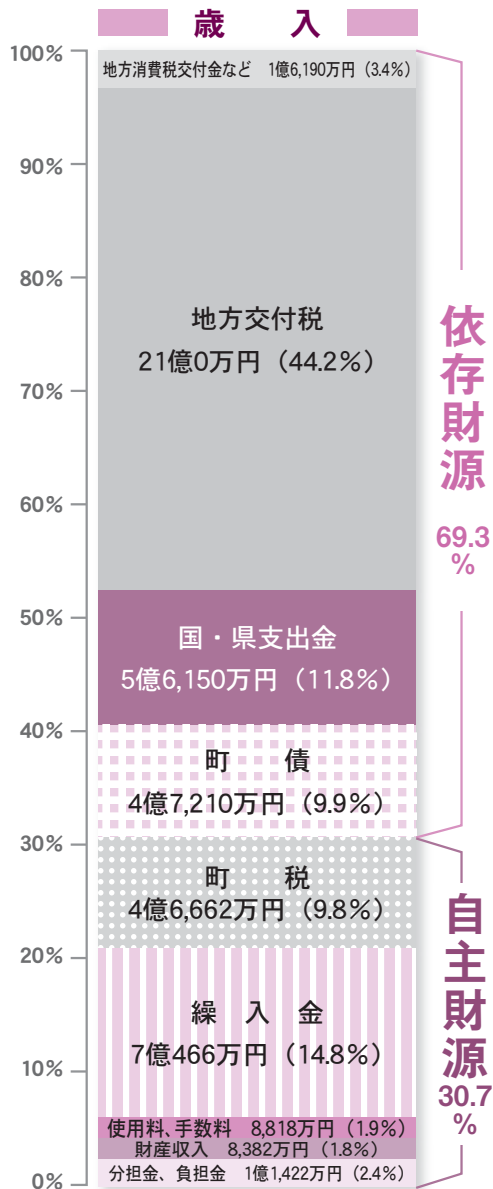
# 47億5300万円

# 平成31年度

# 予算総額 67億9095万円

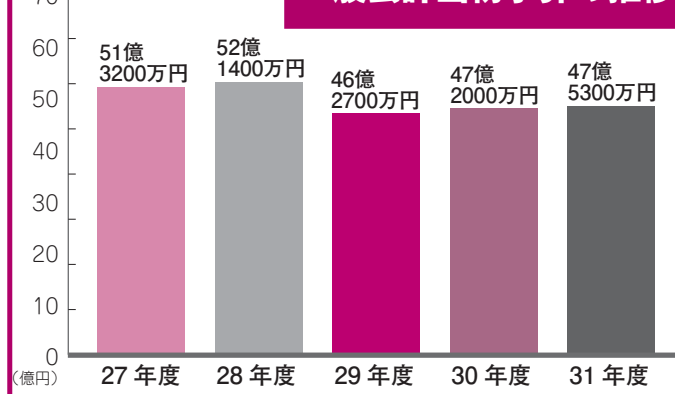
## 「医・食・住」施策の充実で

## 予算審査特別委員会



町事業を行うための平成31年度予算を可決しました。  
 一般会計は、47億5300万円で、前年度当初予算比較で3300万円(0.7%)の増となりました。  
 5特別会計は、20億3795万円で、前年度当初比で1018万円の減となり、総額で67億9095万円、2282万円の増となります。  
 「着眼大局・着手小局」の観点で、事業の必要性の見極めや重点化を行い、「医・食・住」施策の充実を図り、住みたい町の実現を掲げています。

### 一般会計当初予算の推移



項目	摘要	
自主財源 (町が自力で収入)	町税	町民税・固定資産税など町民の皆さんが納めた税金
	繰入金	基金(財政調整基金など)からの繰り入れ金
	使用料及び手数料	町の施設の使用料
	財産収入	町有林立木売り払い代金など
	分担金及び負担金	地域情報通信基盤施設や保育所運営一部負担金
依存財源 (国や県などから)	地方消費税交付金など	地方消費税交付金
	地方交付税	行政格差をなくすために国から交付されるお金
	国庫・県支出金	国や県からの補助金
	町債	国や金融機関から借りるお金

### 委員長報告

## 行財政運営に 住民の声を

予算審査特別委員会  
委員長 菅野浩正

平成31年度一般会計予算及び各特別会計予算は、賛成全員で原案のとおり可決した。  
 町長は「現在の比較的全な財政状況を将来世代に引き継ぐことは我々の責務であり、より効率的で効果的な財政運営を目指す必要がある」としている。  
 審査を通して、事業によっては、人材不足も明らかになり、実施に向けての影響が懸念される。  
 委員会審議での指摘や意見を十分に反映させるとともに、町民の声を傾けた予算執行で、誇れる町づくりを期待したい。

# 注目! 主な新規事業



△購入から8年目となる更新の救急車



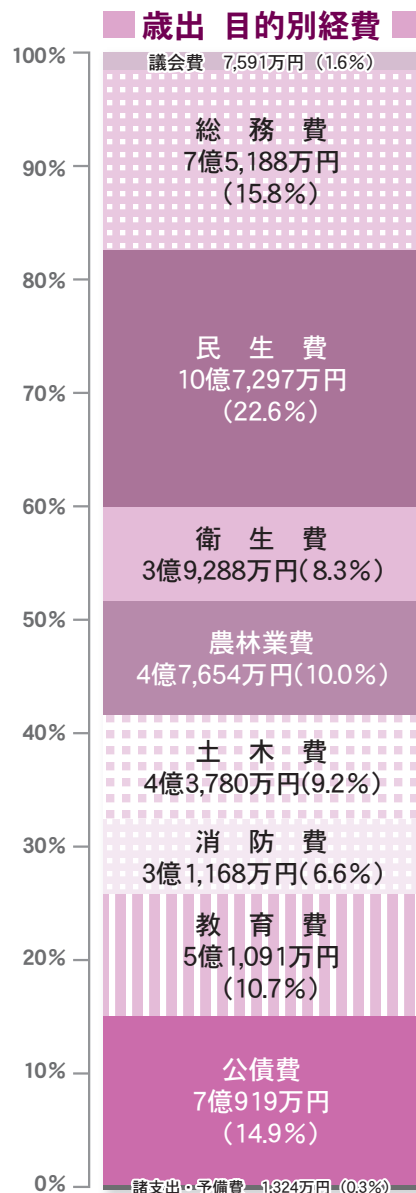
△建替の上有住地区公民館



△玄関改修の農林会館

- 旧農協畜産会館解体 2,722万円
- ふるさと納税パンフレット作成 176万円
- 新生児聴覚検査 33万円
- ストロベリープロジェクト 401万円
- 農林会館正面玄関タイル修理 309万円
- 昭和橋架け替え事業費負担金 4,000万円
- 町営住宅整備事業（工事設計） 2,505万円
- 高規格救急車両更新 4,367万円
- 有住地区スクールバス購入 800万円
- 上有住地区公民館新築設計 3,203万円

## 一般会計 予算総額



### ■特別会計 予算総額 20億3795万円

会計名	予算額
国民健康保険事業特別会計	6億9936万円
簡易水道事業特別会計	2億973万円
下水道事業特別会計	7883万円
介護保険特別会計	9億7917万円
後期高齢者医療特別会計	7086万円

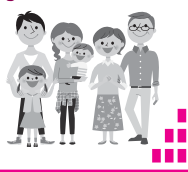
項目	摘要
議会費	議会費
総務費	一般的行政経費や財産管理などの経費（地域づくりなど）
民生費	社会福祉のための経費（高齢者・児童福祉など）
衛生費	健康管理・予防接種・環境衛生費など
農林業費	農業畜産振興・林業振興・労働費・商工費など
土木費	道路や橋梁・河川維持・住宅対策費など
消防費	消防団・消防施設費・防災対策費など
教育費	小中学校の管理や教育振興費・公民館・文化財保護費
公債費	過疎債事業にかかる町債として借りたお金の返済金
諸支出金・予備費	まちづくり応援基金

平成31年2月末日現在人口 5,485人  
町民一人あたりの行政経費（一般会計）

**866,545円**

一人あたりの町税額は  
（町民税・固定資産税・  
軽自動車税・町たばこ税など）

**85,071円**



**賛成討論**

町民に安心を育てる  
佐々木信一議員

『支え合う共生の町』  
を目指し、訪問看護事  
業など新たな医療体制  
の構築。イチゴ農家の  
事業承継を見据えた地  
域おこし協力隊採用な  
ど起業・就業への支援。  
空き家活用整備、集合  
型町営住宅建設など定  
住・居住促進を盛り込  
んでいる。

町民とともに課題解  
決に取り組み、安心し  
てずっと暮らせる町の  
実現を目指した予算で  
あり賛成する。

# 予算審査

ここが聞きたい

## 特別委員会

どう使う  
115問

予算審査特別委員会

平成31年度 一般会計、各種特別会計は、予算審査特別委員会（委員長：菅野浩正）に付託し審議しました。

審議は町政全般にわたり、数多くの質疑がありました。その中から、いくつかをお知らせします。

### 企画財政課

#### まち家の外トイレ整備

**問** 駐車場が整備された「まち家世田米駅」の外トイレ整備は、

**答** 要望もあり計画もあったが、管理の

難しさから、当面設置の計画はない。

**問** 公債費に対する地方交付税の措置額は、

**答** 平成31年度公債費（借入金返済費）約

7億円に対し、地方交付税措置額は5億4千万円ほどになる。

### 総務課

#### 消防団再編の検討

**問** 消防団員の充足状況と団組織の再編

検討は。

**答** 充足率は約80%。再編は出動する体制、機能維持を第一義とし、拠点や受け持ち地区

フォローの仕方も含め検討する。

### 町民生活課

**問** 医療費削減努力支援

**答** 国保会計の保険者努力支援金は、

**問** 医療費削減策としての糖尿病重症化

**答** 予防対策などの努力分204万円が交付される。適切な管理が行われていない危険状態の空き家（特定空き

### 保健福祉課

#### 訪問看護体制は

**問** 訪問看護ステーションのスタート

体制は。

**答** 保健福祉センター内に事務所を置き、

看護師4名、車両2台で開所する。

**問** 家の対策は。

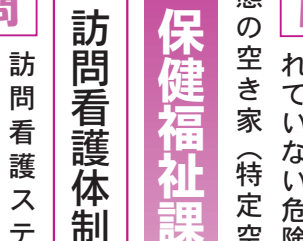
**答** 平成27年度に特別措置法が施行されている。

**問** 国保データベースシステムの活用策は。

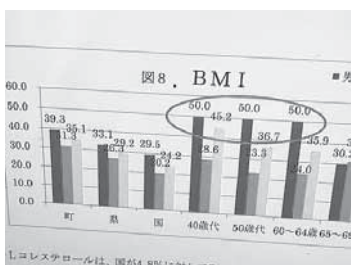
**答** 町民の健康管理や指導に有効に活用したい。



△舗装されたまち家駐車場



△すみちゃん看板



△データヘルス：BMIデータ



# もり 森林づくり基金を制定

## 町森林環境譲与税基金条例

### 条例制定理由

平成31年4月から施行される森林経営管理法の成立を踏まえ、町が実施する森林整備、木材利用の促進等に必要なる財源に充てるため、森林環境税、森林環境譲与税が創設される。森林環境譲与税は、平成31年度から交付されることから、町の林業振興を図るため、住田町森林環境譲与税基金条例を制定するもの。

**問** 森林環境譲与税の用途は。

**答** 新たな森林管理システムでの森林整備を優先し、担い手の確保、人材育成、木材利用促進などが考えられる。今後、総務省で活用方法などのガイドブックを作成することとしていることから、それらを見

ながら検討していく。森林所有者にどう周知していくか。自分で管理できない森林(山)は、町が委託を受け、経営できる山は事業体に再委託する。経営できないような山は町で管理することになる。今後アンケートなど森林所有者の意向を調査し、情報収集する。



△いかに整備が進むか住田の美林

**問** 分収林の把握も進めていくべきだが。

**答** 分収林の場所や面積は、契約書で分かるが、木材の成長や組合の運営管理の内容をすべて把握している訳ではない。相談を受けながら対応していく。

**問** 町定住促進空き家活用住宅の管理運営

**問** 町定住促進を目的とするのか。

**答** 町定住促進を目的とし、町外からの移住者、結婚等を機に町外に転出する可能性がある若い世代を受け入れていく。

**問** 町営住宅との違いを示すべきだが。

**答** 町営住宅は、一定の要件に該当せずに住宅を求め、定住しようとする方を対象とする。

**問** 募集方法などの情報発信は。

**答** 町広報、ホームページ等を活用していく。

**問** 今後の空き家活用の見通しは。

**答** 31年度は、店舗併用住宅1戸、一般住宅2戸を計画し、5棟となる。

- 定住促進空き家活用住宅の所在地と構造
- 第1号 世田米字松ケ平  
ブロック造り平屋建て (延べ床面積70.77平方<sup>㍍</sup>)  
家賃 月額4万円
  - 第2号 世田米字川向  
木造2階建て (延べ床面積203.98平方<sup>㍍</sup>)  
家賃 月額5万円



▷内覧会で「空き家」活用を発信

## 町定住促進空き家活用住宅の管理運営 空き家活用で条例

### 定住促進を図る

### 条例制定理由

人口減少に伴い、町内で増加傾向にある空き家を活用して町内居住希望者の住宅を確保し、定住促進を図るもの。

**問** 入居者の資格と選考基準をどうするのか。

**答** 定住促進を目的とし、町外からの移住者、結婚等を機に町外に転出する可能性がある若い世代を受け入れていく。

**問** 町営住宅との違いを示すべきだが。

**答** 町営住宅は、一定の要件に該当せずに住宅を求め、定住しようとする方を対象とする。

**問** 町営住宅は、一定の要件に該当せずに住宅を求め、定住しようとする方を対象とする。

**問** 募集方法などの情報発信は。

**答** 町広報、ホームページ等を活用していく。

**問** 今後の空き家活用の見通しは。

**答** 31年度は、店舗併用住宅1戸、一般住宅2戸を計画し、5棟となる。

**問** 31年度は、店舗併用住宅1戸、一般住宅2戸を計画し、5棟となる。

**答** 31年度は、店舗併用住宅1戸、一般住宅2戸を計画し、5棟となる。

**問** 31年度は、店舗併用住宅1戸、一般住宅2戸を計画し、5棟となる。

**答** 31年度は、店舗併用住宅1戸、一般住宅2戸を計画し、5棟となる。



# 所管事務調査

常任委員会では、所管事務調査の具現化に向け行政視察を実施しました。  
 総務教民常任委員会は、地域医療と介護の充実に  
 向けて「看護小規模多機能型居宅介護」現場を訪問

しました。  
 産業経済常任委員会は、観光振興と町づくりに向  
 けて「公民連携」による都市整備事業を視察研修し  
 ました。

## 総務教民 「医療」と「在宅」の中間施設としての機能

神奈川県 横須賀市 看護小規模多機能（セントケア衣笠）

### ①事業のコンセプト

病があっても、住み慣れた地域、我が家で安心して穏やかに生活したいと望まれる方やその方を支えたいと願う家族のよ

### りどころとなること。

### ②看護小規模多機能型サービスとは。

医療が必要な状態になっても、在宅での生活を望む方に対応するた

め、「通い」「泊まり」「訪問」の3つのサービスを

お一人おひとりの思いやこれまでの生活スタイルに合わせて、看護サービスを提供しています。



△「セントケア衣笠」の所長より訪問看護のノウハウを学ぶ

## 産業経済 公民連携による街づくりプロジェクト

岩手県紫波町 都市整備事業（オガール紫波）

### ①事業のコンセプト

都市と農村の新しい結びつきを創造し、「暮らす、働く、学ぶ、集う、憩う、楽しむ」：新しく豊かで魅力的な持続的に

### 発展する街を目指す。

### ②オガールプロジェクトとは。

紫波町は、JR紫波中央駅前の町有地10・7畝を中心とした都市整備を

図るため、町民や民間企業の意見を伺い、平成21年3月に町議会の議決を経て公民連携基本計画

「オガールプロジェクト」を立ち上げています。



△住民に親しまれる街並み「オガール紫波」

## 広報 平成30年度 議会広報コンクールで入選



△議会だよりの編集を担当した広報編集常任委員

第37回岩手県町村議会広報コンクールが行われ、「すみた議会だより」が入選2席に入賞しました。今回のコンクールには、県内19町村のうち14町村からの応募がありました。

### 入賞作品

- |      |             |
|------|-------------|
| 特選   | 議会だより かねがさき |
| 入選1席 | いわいすみ議会だより  |
| 入選2席 | すみた議会だより    |
| 奨励賞  | やはば議会だより    |

# 人手不足が深刻

## 建設業協同組合と意見交換

活動レポート  
2月13日

### 災害復旧・除雪に貢献



△インフラ整備など公共事業に貢献されている

議会では、開かれた議  
会を目指し、広く町民の  
声に耳を傾け、町政に反  
映しようと、住民や関係  
団体との懇談会や意見交  
換会を開催しています。  
去る2月13日には、町  
建設業協同組合を構成す  
る9業者の方々と建設業  
界をめぐる意見交換会を  
行いました。  
建設業の皆さんには、  
公共事業を通じ、インフ  
ラの整備、自然災害時の  
復旧、除雪など暮らしの  
利便性、雇用を支える重  
要な役割を担っていただ  
いています。建設業を取  
り巻く問題点や課題を話  
し合いました。

### 町内工事は 町内業者に



町建設業協同組合理事長  
菅野 光浩氏

町内の建設業は、東  
日本大震災の復旧・復  
興工事にかかわってきた  
が、復興事業期間も残  
すところ2年となり、受  
注工事も減少している。  
今後、持続的な公共事  
業の発注を期待したい。  
最近では、人手不足が  
深刻で、若手技術者や  
オペレーターの確保が  
難しくなっている。

工事入札に伴う格付  
け編成の見直しが必要  
となるが、町内の工事  
は、町内業者でできる  
ようにジョイントなど  
体制整備を進めたい。  
仕事は少なくなってい  
ていくことから、厳し  
い環境が続くだろう。

### 議員報酬・定数の取り組み

報酬審議会は据え置きに

議会議員全員協議会  
では、議会議員の改選を前  
に、議員報酬・定数を議  
論しました。  
町では、議員報酬の引  
き上げについて、「特別  
職報酬等審議会」に諮問  
しましたが、現状維持で  
据え置きとなりました。

議員報酬のあり方は、  
前回選挙での無投票を受  
けて、住民懇談会でも意  
見交換を行ってきました。  
全国の町村議会でも検討  
されている課題です。  
議員の「なり手不足」  
の解消、議会が行政監視  
や政策立案といった機能  
を拡大するためにも、  
「議員報酬の増額」への  
理解を求め、町長に要望  
書を提出しました。

議員定数は、多様な民  
意を的確に反映するため  
に必要な定数を確保する  
ことが求められることか  
ら、定数削減すべきでな  
く、慎重な議論を重ねて  
いくことになりました。

表 県内町村議会議員報酬月額

(県南議長会構成町・近隣市との比較) 平成31年1月1日現在

市町村名	議長	副議長	議員
金ヶ崎町	283,000	229,000	212,000
西和賀町	257,000	208,000	191,000
平泉町	271,000	218,000	203,000
住田町	258,000	207,000	196,000
町村平均	275,842	223,105	206,426
町村最高	338,000	275,000	248,000
町村最低	230,000	182,000	165,000
陸前高田市	380,000	330,000	300,000
大船渡市	392,000	339,000	320,000

# 一般質問

3月  
定例会

一般質問は、議員が町長などの執行機関に対し、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などを聞き、報告や説明を求め、疑問点をたずねること。また、議員が主義、主張を述べ提案し論戦します。

一般質問の方法は、1回目は一括して質問しますが、2回目以降は1問ずつ質問する1問1答方式を採用しています。制限時間は、答弁を含めて60分です。

3月定例会では、6人の議員から15件の一般質問が行われ、町政全般について2日間にわたり活発な議論が展開されました。質問と答弁を要約した内容は、12～17ページでお知らせします。

なお、全文記録（議事録）は、5月下旬から役場庁舎2階の総務課と町ホームページ上で閲覧できます。

我が町政を問う

## 道路整備・観光・ 教育・医療などで論戦

ページ	質問者(登壇順)	質問項目
12	荻原 勝	①町内道路網の整備など ②住田高校存続への取り組み
13	瀧本 正徳	①環境施策の推進 ②町の情報・魅力発信施策の推進 ③教育課題
14	佐々木 信一	①道路整備と観光振興 ②地域創造学の取り組み
15	林崎 幸正	①木工団地2事業体の未償還金等への対応 ②C L T工場の誘致 ③滝観洞の再開発
16	村上 薫	①平成31年度町長施政方針演述 ②定住自立圏構想
17	佐々木 春一	①耕作放棄地・遊休農地対策 ②国民健康保険事業の運営 ③消費税増税の町財政への影響



議員のつぶやき

交通の要所  
火石交差点と  
その周辺の整備に  
期待大…

# 340号旧ルートの 整備は

## 町長／住民要望ふまえ

### 県が対応

**問** 町内および沿岸南部  
全域の道路網整備の進展  
を、どう捉え町の施策に  
役立てるのか。

**町長** 望があった歩道の路面整  
備や排水対策は行われる  
のか。

**町長** 県からは、住民要  
望も踏まえ、歩車道の全  
面舗装、排水設備の入れ  
替えと新設、歩道の段差  
解消をしたい旨、説明が

あった。  
歩道は、歩車道の総幅  
員、新たな排水設備、車  
の通行量などから歩行ス  
ペースのあり方を総合的  
に検討。その結果、歩車  
道境界ブロックをなくし、  
歩道と車道をフラットに  
した自由度の高い歩行ス  
ペースを設ける整備を選  
択した。町としてもその  
ように進めてもらいたい。

**問** 国道340号旧ルー  
トでは、地域住民から要



△再整備が待たれる国道340号旧ルート（火石付近）

**町長** 平成31年度に道路  
修繕工事を行い、町道に  
移管される。

**問** 工期はいつまでか。

**町長** 平成31年度に道路  
修繕工事を行い、町道に  
移管される。

## 教育コーディネーター事業の評価は 魅力向上策として支援継続



△新しいポスターとリーフレットも住高魅力  
向上策のひとつとして活用された。

**問** 住田高校への教育  
コーディネーター着任以  
来のプロセスへの評価は。

**教育長** 住田高校志願者  
数は、40人の定員に対し  
32人であった。年々中学  
校卒業生数が減少してい  
る中、29年度より10人多  
い状況であることから、  
これまでの魅力向上の取  
組みにより一定の成果が  
あったと捉えている。

**教育長** 着任以来、住田  
高校に関するヒアリング  
調査、新たな支援策であ  
る「自学自習支援事業」  
などに取り組んできた。  
円滑な運営をしており高  
く評価している。

**問** 住高PRポスター・  
リーフレットの評判は。

**教育長** 配布した管内中  
学校をはじめ、内外から  
大変注目されている。

**問** 教育コーディネーター  
事業は何年位続くのか。

**教育長** まだ半年の事業  
評価だが、住高の魅力向  
上策のひとつであり、当  
分は続けていく。31年度  
は1名増員も考えてい  
る。

**問** 志願者数確保の状況  
は。

**教育長** まだ半年の事業  
評価だが、住高の魅力向  
上策のひとつであり、当  
分は続けていく。31年度  
は1名増員も考えてい  
る。



すがすがしい  
山村景観こそ  
住田の良さ・らしさ…

議員のつぶやき

# 住田町らしい こざっぱり策を

## 町長／地域主体の推進活動で

我が町政を問う

たきもとまさのり  
瀧本正徳議員



△すがすがしく整備されている河川  
周辺（世田米柿内沢）

**問** 清潔感にあふれ、安らぎと快適さをもたらす里山の景観保全、住田町らしい将来の町の形を見据えた理念「こざっぱり条例」の施策推進は、

**町長** 第4次住田町環境基本計画の中に位置づけ進める。環境の保全に関する施策実施状況は、検証しホームページで公表している。桜や紅葉の植栽による里山整備や河川周辺の下刈りなどが進められている。今後、地域主体で取り組む活動が町民全体に浸透していくよう努める。

**問** 地球環境に負荷の少ない地域社会を構築し、地球温暖化効果ガス削減に取り組むとある。対策を進め、町民総参加体制で温暖化の対応策を図るべきでは。

**町長** 2030年度を目標とした、第3次住田町役場地球温暖化対策実行計画を策定中である。達成目標が高く、一層の節電・冷暖房機器適正化などを進める。町全体、町民が日々の暮らしの中で意識的に温暖化効果ガス削減の取り組みができるよう努める。

**問** 昭和・平成などの元号は、日本の年の数え方であり、日本の文化である。改元をどのように教えるか。

**教育長** 元号は小学校6年生社会科の授業において、日本国憲法の中で学習する。今年5月の改元は、まれな機会となることから、より深い学習機会となると期待される。学校・家庭・社会全体の中で学び、日本人の社会常識として継承していくことが大切である。

### 新元号 令和 改元教育は

#### より深い学習機会と期待

**問** 町の情報発信は、観光・関係人口やふるさと納税の観点からも重要である。情報発信を施策として強く進めるべき。

**町長** 町の情報・魅力発信の手段として、紙媒体・映像媒体・インターネット配信やSNSがある。場に合わせ課題を整理し、連携して効率的に伝わる情報発信に努める。

**この他の質問**

- ・ふるさと納税推進
- ・基本的人権教育



△天皇后両陛下下来町記念碑

# どう生かす 高速交通網

## 町長／経済活動の発展に期待



議員のつぶやき

全線開通により、  
県内に多くの  
観光客が来て  
ほしいなァ

### 我が町政を問う

ささきしんいち  
佐々木信一 議員



△町内への入り込みが期待される  
滝観洞インター

**問** 東北横断自動車道釜石・花巻間が全線開通する。滝観洞インターと遠野住田インターが完成し、花巻空港と結ばれる。さらなる交流人口増と観光振興にどう生かすか。

**町長** 整備された交通体系を生かし、三陸ジオパークや三陸防災復興プロジェクトなど、広域的な取り組みを推進するとともに、住田観光開発(株)、観光協会、商工会と連携を図りながら、交流人口の拡大と観光振興に努める。

**問** 沿岸と内陸が高速交通体系で結ばれ、産業・経済活動が期待される。取り残されないように、

**町長** 沿岸と内陸が高速交通体系で結ばれ、産業・経済活動が期待される。取り残されないように、

**問** 県道釜石住田線の31年度の補修等の計画は。

**町長** 小松・下寒倉間の路肩沈下箇所等の修繕工事を検討している。

**問** 県道釜石住田線に調査費が出ている、30年度はこの調査を行ったか。

**町長** 上有住字小松中坪、土倉く大洞の2箇所

**問** 全線開通によるメリットを活用し、町内企業の輸送の円滑化やコストの削減、事業の拡大など、関係機関で連携しながら経済活動の発展に取り組んでいきたい。

**町長** 現在の道路の問題箇所等を抽出する現況調査を実施した。

### 地域創造学の取り組みは 高校受験にも対応した学び



△地域創造学の発表会

**問** 地域創造学の学習を通して、自ら住む地域課題にどう取り組むか。

**教育長** 自分たちが生活する地域に関心や思いを寄せながら、自ら設定した地域課題を主体的に学習し、自分なりの解決や望ましいあり方など納得できる答えを導き出せるように取り組んでいく。

**問** 児童生徒が自分の将来に希望を見出し、生きる力を身につけるために。

**教育長** 児童生徒が主体的に学び、いろいろな思

いの人と関わる中で考えを広げ、課題の解決に生かそうとする過程が欠かせない。地域住民の方々の関わりも重要である。

**問** 中学3年生は受験や進路を決める重要な時期である。今回の地域創造学の取り組みをどう捉えているか。

**教育長** 地域創造学で目指す資質・能力は、今後の社会や高等教育機関が期待する人材に求めているものであり、高校受験にも対応した大きな学びであると捉えている。



議員のつぶやき

未償還金問題の解決できる体制を…

# 町長／具体的な支払を求める

# 対策チームの検討状況は

**問** 町当局・議会・顧問弁護士による木工2事業体貸付金償還にかかる対策チームの検討状況は。

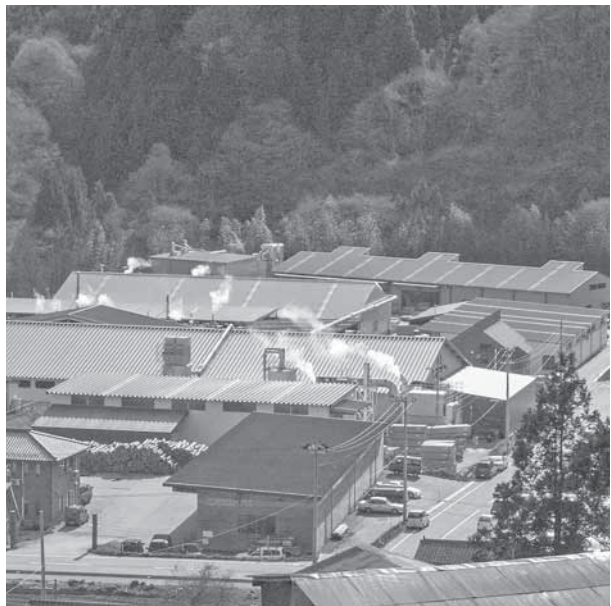
**町長** 検討会を三回開催した。町顧問に理事者などへの働きかけと、事業体に対し町債権の支払いを求める催告書の提出を顧問弁護士と相談したことなどを報告し、今後の取り組みを協議した。催告書は、代表理事などに直接手渡し、具体的な支払い計画と、書面による回答を求める。

**問** 今後、どのように進

めていく考えか。

**町長** 町ができること、事業体ができることを整

理し、顧問弁護士や外部の公認会計士などのアドバイスをいただきながら



△経営安定化が望まれる木工2事業体

進めたい。  
**問** 町内に、CLT工場を誘致しているが、誘致場所と現在の状況は。

**町長** CLT工法は、中高層建築の木質構造用材料としての利用が大きく期待されている。CLT工場設置誘致は、林業振興や雇用の創出が図られ、町の活性化につながる。工場の場所も含め、まだ確定していないが、誘致に向けた取り組みを進めている。

## 全線開通で滝観洞の誘客策を 新規事業で積極的に



△高速交通網整備で期待される滝観洞観光の拠点施設

**問** 東北横断自動車道釜石・花巻間が全線開通する。この好機を積極的にアピールし、滝観洞の誘客につなげるべき。

**町長** 「三陸防災復興プロジェクト推進のための観光物産体制整備事業」を活用した整備を進めてきた。新年度予算では、新規事業の実施で積極的に取り組む。

**問** 滝観洞周辺の環境整備のため、JR釜石線の

**町長** 外観や周辺施設の老朽化が目立つが、早急な施設の建て替えは難しいものと考える。



議員のつぶやき

看護師さん、保健師さん不足の解消も、喫緊の課題だ

# いつ開設

## 訪問看護ステーション

### 町長／4月開設

**問** 重点施策「医」の訪問看護ステーション開設はいつか。

**町長** 本年度2月中の開設予定が、看護師の人員確保や未来かなえ機構の定款変更により遅れ、4月開設に向けて作業を進めている。

**問** 収支の見通しをどのように捉えているか。

**町長** 平成31年度末、利用者20人を目標。約40人で利益が出てくる見込み。早期に収支バランスがとれるよう支援していく。

**問** 町では平成31年度



△訪看「すみちゃん」－新しい医療資源の活用が期待される

訪問看護事業に2200万円の補助金を計上した。町民の間では「木工2事業体のようにならな

**町長** 収支に関し、いく

いか」と心配をする声もある。これにどう答えるか。

### 定住自立圏構想への対応は3首長で意義確認



△県内では、定住自立圏釜石・大槌等既に3圏域で動き出している。

ンターの協力を得て、検討、試作を行ってきた。ながら検出されなかった。検査した結果、食品加工

らつぎ込んでもいいということにはならない。まずは立ち上げの部分を支援し、状況を精査しながら、しっかりと自立できるよう指導していく。

**問** 観光交流物産館構想への対応をどう考えているか。

**農政課長** 昨年の提案では、実際運営する場合の経費、売上目標、販売方法など詳細の詰めが必要。  
**問** 重点施策「食」のアツモリソウ花酵母商品開発の進展状況は。

**町長** 県環境保健研究セ

**問** 定住自立圏構想は、自立圏形成協定に基づき、相互の役割を分担し連携協力。圏域全体として必要な生活機能を確保し、地方圏の受け皿を形成することを目的としている。

大船渡市を中心市とし、近隣市町村を住田町、陸前高田市とするこの構想は、いつ協定を結び、どのような共生ビジョンとする考えか。

**町長** これまで2市1町の首長が情報を共有する機会を設け、構想の意義

を確認し、2市1町の企画担当者による情報共有が進んでいる。今後のスケジュールや体制などは、現時点では具体的にない。

**問** ILC（国際リニアコライダー）は、当町にとって最も関わりある「グリーンILC」構想も含む。町長、教育長施政方針演述にILCへの言及が無い理由は何か。

**町長** 演述にはないが、町にとって有益な取り組みを進めていく。





若手農業者のやる気が生まれるような持続可能な農業支援策を…

議員のつぶやき

# 家族経営を支える 就農支援を

## 町長／後継者に手厚く

我が町政を問う

ささき はるかす 議員



△実り豊かにする春の農作業がスタート。汗が報われる農政が期待される。

**問** 離農と遊休農地が増えている。耕作放棄地の解消対策は何か。

**町長** 中山間地域等直接支払や多面的機能直接支払交付金などによる農地の維持、経営改善や規模拡大支援、後継者など担い手農業者の育成に取り組んでいる。

**問** 国が進めてきた農地バンク（農地中間管理事業）への取り組みは。

**農業委員会** 農地利用の最適化に向けて201

8年度に指針を作成し、5地区ごとに班を設けて活動している。農地の出し手、受け手の情報を収集しながら、少しでも担い手のためになる集積を図りたい。

**問** 農地集積の状況は。

**農業委員会** 現状では規模拡大を考える農業者がなく、調査活動や非農地判断といった業務が中心で集積状況はかなり低いと捉えている。

**問** 全ての農家を担い手

として家族経営を支える就農支援を行うべきだが。

落営農や規模拡大に取り組む後継者など担い手に手厚く就農支援を進めていく。

### 国保税「協会けんぽ並み」に

#### 低所得層に考慮

**問** 医療資源が少なくても町民の健康と暮らしを守るうえで、国保制度の持続性を確保することが重要である。今後の見通しは。

**町長** 2018年度に国保の広域化に合わせ、国保税の算定方式を見直して、当初の年国保税額で約1000万円の減となったが、前年度からの繰越金の一部を充当し、維持できる。

**問** 国保税を「協会けんぽの保険料並み」に引き下げることはできないか。

**町長** 単純に比較できるものではない。所得の間層から低所得層に負

担が大きくなならないよう考慮して試算している。

**問** 国保税の算定方式である均等割、平等割を見直すべき。当面、子どもの均等割の独自軽減、多子世帯の減免など負担軽減を図るべき。

**町長** 子どものいる世帯への軽減措置は現時点では考えていない。2019年8月から医療費の病院窓口での支払いが無料化となる「現物給付」を小学生まで拡大する。今後も様々な子育て支援に努めていく。

#### その他の質問

消費税増税後の町財政への影響など

# 一般質問その後 どうなりました

# あの提言

特集

町と、議会と、町民は

66

一般質問は、議員に与えられた重要な権限の一つですが、ここでは、一般質問のその後「どうなりました あの提言」として、過去の一般質問や議案審議などが町政にどう反映されているのかお知らせします。

掲載内容は、平成18年以降の質問から議会広報編集常任委員会で1項目を選び、その後の状況などを追跡しました。

質問

## 開業医閉院への対応は

町内の開業医が世田米と上有住で相次いで閉院し、住田地域診療センターのみの体制となった。町のアンケートでは、医療について不満・やや不満が75%にまで上昇しているが、対応はどうか。

答弁

## 訪問看護事業の立ち上げへ

満足度の落ち込みが大きかった医療については、現在進めている保健・医療・介護連携体制構築検討会などを通して、医師不足を補う訪問看護事業を立ち上げたい。

その後

これからが  
大事

## 訪問看護スタート

平成31年4月1日、保健福祉センター内に、一般社団法人未来かなえ機構が運営する未来かなえ訪問看護ステーション「すみちゃん」が開設され、看護師4名、車両2台でスタートした。医師の指示に基づく在宅看護を行なうほか、認知症ケアやリハビリにも対応する。



△訪問看護ステーション「すみちゃん」を担う皆さん

# 煙突撤去 繰り延べ

## ●環境衛生組合の動き●

大船渡地区環境衛生組合は、大船渡市と住田町の家庭などから排出されるごみを適正に処理することにより、快適な住環境の保全と環境負荷の少ない持続可能な循環型社会の構築に取り組んでいます。主な内容は、可燃物、

不燃物処理粗大ごみ広域運搬費6578万円、最終処分場水質検査費512万円、集団資源回収事業奨励金450万円となっています。なお、旧焼却施設（煙突）の解体撤去は平成32年度以降へ繰り延べとなりました。



△今後解体撤去される煙突

### 議会事務局人事

佐々木 隆児さん (町民生活課へ)

☆会計室から

松本 円さん

■ ..... ■  
 次回の定例会は  
**6月11日(予定)から**  
**開会は10時です。**

詳しくは議会事務局へ ☎ 46-3754 (直通)  
 E-mail gikai@town.sumita.iwate.jp

# 追跡



## 私の意見を 聞いて!

### 「すみちゃん」の 周知を 大和泉 公男 さん

(世田米字川向)



百一歳になる母は、手を添えれば歩けるほど元気です。介護認定を受け、すみちんのデイサービスを利用し、家族で世話をしています。開設された「すみちゃん」の訪問看護には、医療行為である床ずれ治療などの点でとても関心があります。新しいサービス事業なので、最初の相談窓口や料金、介護と看護の併用など、老老介護者にも分かるよう周知してほしいです。終末医療では、住田病院の2階活用も必要ではないでしょうか。

### 不安のない人生の 一助に 多田 浩美 さん

(下有住字奥新切)



訪問看護ステーション「すみちゃん」で働くことになりました。在宅療養をする方と介護側の不安を和らげるサポートが出来ればと思います。私は看護師として県立病院に勤めていましたが、町の医療資源不足を強く感じ、自らで何かできないかと、町社会福祉協議会の介護事業所に職を変えました。高齢の1人暮らしが増え、老老介護が進んでいます。町内には、住み慣れた地域で安心して暮らし続けたいと願っている住民が多くいます。その一助になればと思います。



世田米字上日向

紺野 康夫さん

# 私も ひとつ 甘口 辛口

82



上有住二反田

永井 明美さん

## ミラー設置で安全運転を

●今活動していることは 大丈夫でしょうか。

ライオンズクラブの奉 ●議会や町に望むことは

仕活動、すみた荘の監事、 上根バス停すぐそばに

そして悠悠クラブでは事 107号線と交わるT字

務局を、その他に世田米 路があります。

いきいき教室の運営委員、 大船渡方面の道が左に

おまけに学生の通学時の 大きく曲がっており、右

運転手も務めています。 折する場合に見通しが悪

●気になっていることは くミラー設置で安全運転

消火栓から私の家まで が出来るとかと思えます。

276歩ありました。

ホースの長さや水量は



△交通量の多い交差点 ミラー設置を

## 河川改修を早めに

●住田町に思うこと

高齢化が進み特に婦人

会などは、70歳になると

引退していきまます。後に

続く若い人が少なく、同

じ人が行っている状況で

す。

●気になっていることは

今年、久しぶりに地元

から一人、小学校の入学

者がありました。小中学

校も児童数が減少し、運

動会など学校行事が大変

そうです、早めの統合を

考える時期と思えます。

●議会や町に望むことは

私の家の前が気仙川で、

台風や豪雨で庭先まで冠

水しそうになったことが

何回かありました。河川

改修を早めをお願いします。

す。



△護岸工事が待たれる二反田付近

## 表紙の写真 有住保育園



4月5日、有住保育園で行われた「劇団横綱チユチユ」公演の際、記念撮影した一枚です。

効果音とともに登場した大男を見て、初めは目を見開いて驚き、次第に泣き出す子どもたちさえいましたが、終演後は笑顔で劇団員の皆さんに手を振る子どもたちの姿がかわいらしく、印象的でした。

## あとがき

▽町議会3月定例会は、予算審議を通じ、向こう1年間の町政運営や地域課題解決を見据えた論戦を交わしました。

▽神田町長は「新年度は、住民との意見交換会を開催し、ともに未来の姿を丁寧に考えていきたい」と語っています。

▽平成回顧の喧騒(けんそう)のなかで、新元号「令和」が発表されました。西暦か元号か、いかなる紀年法を用いますか。

### 広報編集常任委員会

#### 発行責任者

議長 菊池 孝

委員長 佐々木春一

副委員長 瀧本 正徳

委員 菅野 浩正

佐々木信一

佐々木初雄

萩原 勝